

総合R事業立上げ

日本紙パルプ商事／石坂グループ

40億円投じ新工場着工へ

日本紙パルプ商事と有価物回収協業組合石坂グループ（熊本市、石坂孝光代表理事）は、

マテリアルおよびサイマルリサイクルの両関連事業を総合的に手掛ける新会社を設立、2

月25日には熊本県ならびに熊本市と立地協定を締結した。

新会社のエコポート九州（熊本市、石坂孝光社長）は資本金2億円。出資比率は日本紙パルプ商事70%、石坂グループ30%の割合。総事

業費40億円を投じ、熊本市の湾岸部に新工場を建設する。2009

年7月に着工、10年4月の操業開始を予定している。

事業は、①廃プラスチックマテリアル事業②機密文書溶解・リサイクル事業③木質原料製造事業④固形燃料（RPF）製造事業―を柱に据え、展開する。

①は、廃プラに光学多重選別を施し破砕・洗浄。高純度な再生ペレットを製造する。②

は、機密文書を保管箱に入ったまま溶解し古紙パルプを製造する。

③は、風倒木や間伐流木など生木類、建設木くずなどを集荷。破砕

・圧縮、固形化し木質ペレットを製造していく。④は、工場内で発生した廃プラ、機密文書、木質原料など残さを主原料に、RPFを製造し燃料利用する。

4事業トータルで、年間4万―5万トの資源物のリサイクルを見込む。